様式第25号　保有個人情報利用停止請求書

整理番号

令和　　年　　月　　日

収　受

日付印

保有個人情報利用停止請求書

＿＿＿＿＿＿＿＿殿

（ふりがな）
氏名

住所又は居所
〒　　TEL　　（　　）

連絡先（上記以外の連絡先がある場合に記載してください。）
〒　　TEL　　（　　）

個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）第99条第１項の規定に基づき、下記のとおり保有個人情報の利用停止を請求します。

記

利用停止請求に係る保有個人情報の開示を受けた日	令和　　年　　月　　日
開示決定に基づき開示を受けた保有個人情報	開示決定通知書の日付及び文書番号 令和　　年　　月　　日付　　第　　号 開示決定に基づき開示を受けた保有個人情報の名称等
利用停止請求の趣旨及び理由	（趣旨） □第１号該当　→　□利用の停止、□消去 □第２号該当　→　提供の停止 （理由）

１　利用停止請求者　□本人　　□法定代理人　　□任意代理人
２　請求者本人確認書類 □運転免許証　□個人番号カード又は住民基本台帳カード（住所記載のあるもの） □在留カード、特別永住者証明書又は特別永住者証明書とみなされる外国人登録証明書 □その他（　　） ※　請求書を送付して請求をする場合には、加えて住民票の写し等を添付してください。 ※　オンライン申請（本人による請求に限ります。）の場合、上記の書類は提出不要です。
３　**本人の状況等（法定代理人又は任意代理人が請求する場合にのみ記載してください。）** ア　本人の状況　□未成年者（　　年　　月　　日生）　□成年被後見人 □任意代理人委任者 （ふりがな） イ　本人の氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ウ　本人の住所又は居所
４　法定代理人が請求する場合、上記イのほか、次のいずれかの書類を提示又は提出してください。 請求資格確認書類　□戸籍謄本　□登記事項証明書　□その他（　　）
５　任意代理人が請求する場合、上記イのほか、次の書類を提示又は提出してください。 請求資格確認書類　（ア）□委任状　（イ）□委任者の印鑑登録証明書又は委任者の運転免許証の写しなど ※　詳しくは裏面（記載に当たっての注意事項）の６⑶をご確認ください。

※　整理欄

受付	請求者本人確認書類識別番号等（個人番号、基礎年金番号及び被保険者等番号等を除く）	確認者	補正
□ 窓口 □ 送付 □ オンライン			□ 有 □ 無

（記載に当たっての注意事項）

１　利用停止請求先、「氏名」、「住所又は居所」、「連絡先」

利用停止請求書を提出する行政機関の長の名称（例えば、〇〇税務署長）を記載してください。

本人（法定代理人又は任意代理人（以下、併せて「代理人」という。）による利用停止請求の場合には、代理人）の氏名及び住所又は居所を記載してください。ここに記載された氏名及び住所又は居所により利用停止決定通知等を行うことになりますので、正確に記載してください。

また、連絡を行う際に必要になりますので、電話番号も記載してください。「住所又は居所」欄に記載した住所又は居所以外の連絡先がある場合には、「連絡先」欄に当該連絡先（名称、所在地及び電話番号）を記載してください。

２　「利用停止請求に係る保有個人情報の開示を受けた日」

３①又は②に掲げる保有個人情報の開示の実施を受けた日を記載してください。

３　「開示決定に基づき開示を受けた保有個人情報」

開示決定に基づき開示を受けた保有個人情報の名称等を記載してください。なお、本法により保有個人情報の利用停止請求ができるのは次に掲げるものです。

①　開示決定に基づき開示を受けた保有個人情報（法第90条第１項第１号）

②　開示決定に係る保有個人情報であって、法第88条第１項の他の法律又はこれに基づく命令の規定により開示を受けたもの（法第90条第１項第２号）

４　「利用停止請求の趣旨及び理由」

(1) 利用停止請求の趣旨

「第１号該当」、「第２号該当」のいずれか該当する□にレ点を付けてください。

ア　「第１号該当」には、法第61条第２項の規定（個人情報の保有制限）に違反して保有されているとき、法第63条の規定（不適正な利用の禁止）に違反して取り扱われているとき、法第64条の規定（適正取得）に違反して取得されたものであるとき又は法第69条第１項及び第２項の規定（目的外利用制限）に違反して利用されていると考えるときに、□にレ点を付けてください。また、「利用の停止」又は「消去」のいずれかにレ点を付けてください。

イ　「第２号該当」には、法第69条第１項及び第２項の規定（目的外提供制限）又は法第71条第１項の規定（外国第三者提供制限）に違反して他の行政機関等や外国にある第三者等に提供されていると考えるときに、□にレ点を付けてください。

(2) 利用停止請求の理由

利用停止請求の趣旨を裏付ける根拠を明確かつ簡潔に記載してください。なお、本欄に記載しきれない場合には、本欄を参考にして別葉に記載し、本請求書に添付して提出してください。

５　利用停止請求の期限について

利用停止請求は、法第98条第３項の規定により、保有個人情報の開示を受けた日から90日以内にしなければならないこととされています。

６　本人確認書類等

(1) 窓口来所による利用停止請求の場合

窓口に来所して利用停止請求をする場合、本人確認のため、個人情報の保護に関する法律施行令第29条において読み替えて準用する同令第22条（第４項及び第５項を除く。）に規定する運転免許証、個人番号カード（住民基本台帳カード（注）、ただし個人番号通知カードは不可）、在留カード、特別永住者証明書又は特別永住者証明書とみなされる外国人登録証明書等の住所及び氏名が記載されている書類を提示又は提出してください。どのような書類が本人確認書類に当たるのか分からない場合や、これらの本人確認書類の提示又は提出ができない場合は、利用停止請求先の窓口に事前に相談してください。

（注）住民基本台帳カードは、その効力を失うか、個人番号カードの交付を受ける時まで個人番号カードとみなされ、引き続き使用可能です。

(2) 送付による利用停止請求の場合

保有個人情報利用停止請求書を送付して利用停止請求をする場合には、(1)の本人確認書類を複写機により複写したものに併せて、住民票の写し（利用停止請求をする日前30日以内に作成されたものに限ります。）を提出してください。住民票の写しは、市町村が発行する公文書であり、その複写物による提出は認められません。住民票の写しが提出できない場合は、利用停止請求先の窓口に事前に相談してください。

なお、個人番号カードを複写機により複写したものを提出する場合は、表面のみ複写し、住民票の写しについては、個人番号の記載がある場合、当該個人番号を黒塗りしてください。また、健康保険等の資格確認書を複写機により複写したものを提出する場合は、保険者番号及び被保険者等記号・番号を黒塗りにしてください。

(3) オンライン申請による利用停止請求の場合（本人による請求に限ります。）

マイナンバーカードにおける電子証明書により本人確認を行います。

(4) 代理人による利用停止請求の場合

「本人の状況等」欄は、代理人による利用停止請求の場合に記載してください。必要な記載事項は、保有個人情報の本人の状況、氏名及び本人の住所又は居所です。

代理人のうち、法定代理人が利用停止請求をする場合には、戸籍謄本、戸籍抄本、成年後見登記の登記事項証明書その他法定代理人であることを証明する書類（利用停止請求をする日前30日以内に作成されたものに限ります。）を提示又は提出してください。なお、戸籍謄本その他法定代理人であることを証明する書類は、市町村等が発行する公文書であり、その複写物による提示又は提出は認められません。

代理人のうち、任意代理人が利用停止請求をする場合には、委任状（利用停止請求をする日前30日以内に委任者本人が作成されたものに限ります。）を提示又は提出してください。また、①委任者の実印により押印した上で印鑑登録証明書（利用停止請求をする日前30日以内に作成されたものに限ります。）を添付するか又は②委任者の運転免許証、個人番号カード（個人番号通知カードは不可）等本人に対し一に限り発行される書類の写しを併せて提示又は提出してください。なお、委任状は、その複写物による提示又は提出は認められません。

また、電話等により、保有個人情報の本人に委任の事実を確認する場合があります。

〇　詳しくは、利用停止請求先の窓口にお尋ねください。